

イソップ童話
イラスト フクシマミキ

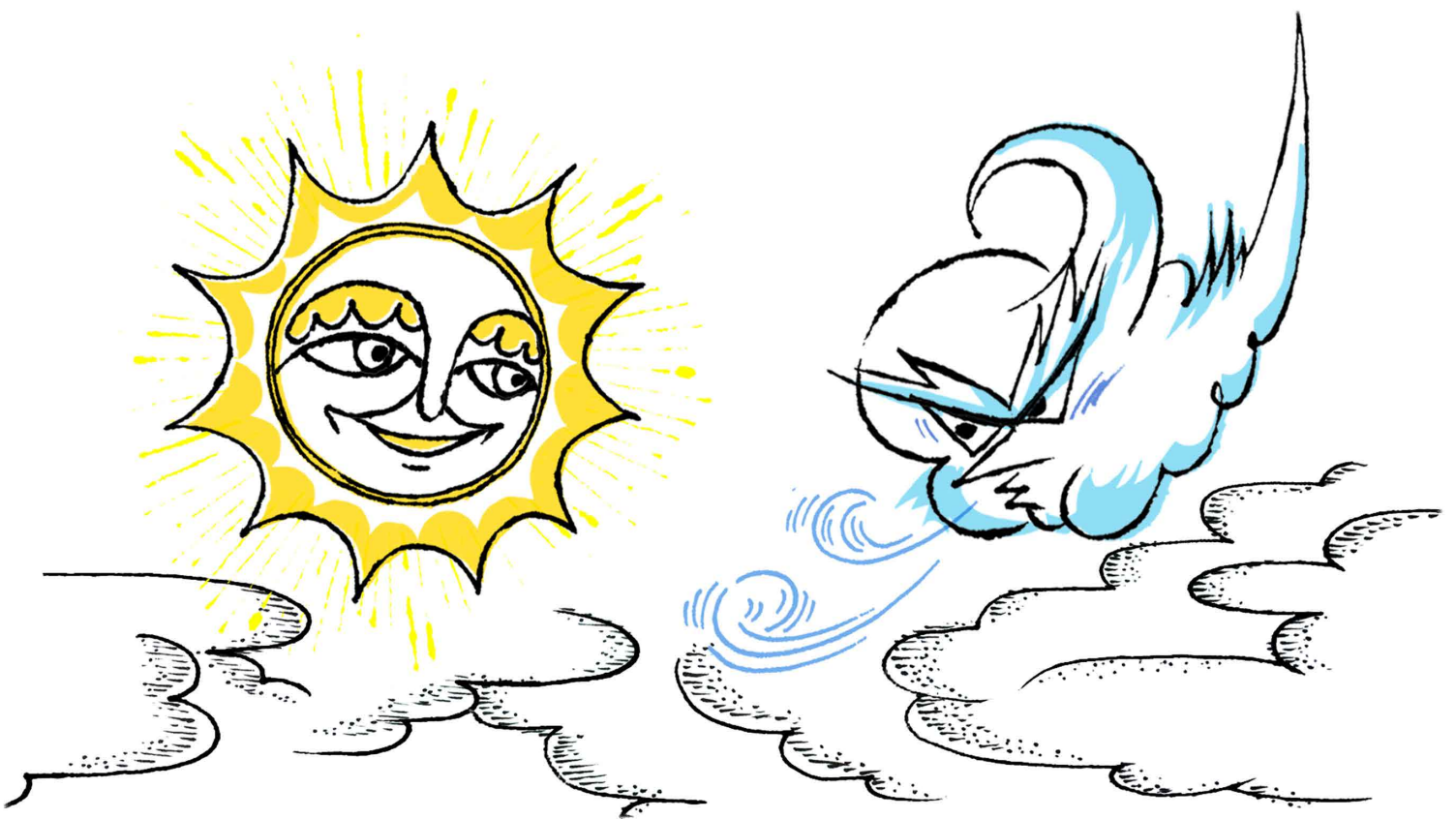
あるとき、北風きたかせと太陽たいようが、どちらが強いつよかで、いいあらそいをしました。

北風 「ふん。強いのは おれ様さまにきまつている。おれ様がピューっとーいき ふきかければ、花も木も、家のやねだってふきとぶぞ。」

と、北風が太陽につつかかっても、

太陽 「ははは。そうかなあ。」

と、太陽はにこにこわらっているだけです。



北風 「そうさ。風の力はすごいんだ。太陽なんか、ただあたたかいただけじゃないか。」

北風 「くくく。じゃあ、どちらが強いか、力くらべをしてみようじゃないか。」

太陽 「ええ、いいですよ。」

北風 「ようし。太陽、あれが見えるか？」

北風が、空から地上をゆびさすと、野原の一本道を、一人の旅人が歩いて来ます。

たびびと



北風 「どうだ、あの旅人のコートをぬがせた方がかち、
ということにしないか。」

太陽 「そうしましょう。」

北風 「ふん。あんなうすつぺらなコート、おれ様の強
い風でかたんにふきとばしてやるぞ。」

こうして、北風と太陽の力くらべがはじまりました。

北風 「ようし。じゃあ、おれ様からいくぞ！」

北風は、大きくほおをふくらませると、旅人にむけて
つめたい風をいきおいよくふきつけました。

北風 「ハア〜、ピューー！」

へピュ〜 プルルル〜

♪ピュ〜 プルルルル〜

♪プツプクプ〜



旅人「うわっ、さむい…！」

旅人は、とつぜん、空からつめたい風がふいてきたので、思わず「コート」のえりを立てました。

北風 「ははは、は！そんなことしたってむだだ。」

北風はあざわらって、もっと力をこめて風をふきつけます。

北風 「ハア、ピュー！！！」

へっぴゅっ ブルルル

♪ピュっ ブルルブルル

♪ブルルル

♪ブルルル



旅人「な、なんてつめたい風だ…。」

北風のさむさにふるえあがった旅人は、コート
のボタンをしっかりとえりもとまでかけました。

北風「おいおい、そりゃないだろう。」

おこった北風は、もっともっと力をこめて、つめたい
風をふきつけました。

北風「ハア、ピュー！！！！」

へ♪ピュ、ブルル、

♪ブルルブルル

♪ブルルブルル

♪ブルルルルル、

♪ブルルル ピリリリリ、



旅人「こ、こりゃ、たまらん！」

旅人は、さむさにたえられなくなって、その場に

しゃがみこみ、イモムシのように、体をまるめてしま
いました。

北風「く、くそつ。」「トめ、ふきとげー！」

北風は顔をまっ赤まっかにして、もっともっともっともっ
と強く
ふきつけました。

北風「ハア、ピューー！…ピューー！…ピューー！…」

♪ピュルル〜

♪ブルル　ブルル

♪ブルル　ブルル

♪ピリリ　ビリリ　ビリリ〜

でも、旅人は石みたいになごかないので、コートは
引きはがせません。

へ♪ピュリリリリリリ

♪ビュリリリリリリ

♪ビュリリリリリリ

♪ハア！ ハア！

♪ハア！ ハア！ ハア！

♪ビュリリリリリリ……

北風 「はあ、はあ、はあ…、もうだめだあ…。」

とうとう北風は、力をつかいはたして、こうさん
してしまいました。



太陽 「ははは。では、こんどは、わたしの番ですね。」

北風 「はあ、お前にできるわけがないだろ。はあ…。」

太陽 「まあ、見ていてください。」

と、太陽は北風とこうたいすると、旅人におむけて、
ぽかぽかとあたたかい日ざしをなげかけました。

へ♪ポロン♪

♪ポカポカポカポカ♪

♪ポカポカポカ

♪ポカポカ、ポカ♪



旅人「……お、おや？」

きゆうにつめたい風がやんだので、旅人は顔を上げました。空には太陽がやさしくかがやいています。

旅人「ああ、たすかった。日がてってきたぞ。」

旅人はほっとして、立ち上がると、さむさでちぢこまっていた体をのばし、ゆっくりと歩き出しました。

太陽「そうそう、しっかり歩きなさい。」

太陽はうなずいて、こんどは少し強くてらしました。



へ♪ポロン♪

♪ポカポカポカポカ♪

♪ポカポカポカ

♪ポカポカ、ポカ♪

旅人「ああ、暖かくて気持ちがいいなあ。」
そう言うと、旅人はコートを脱ぎました。

(バサ♪)



北風 「…あれ？」

太陽 「はははは、今日は気分がいいねえ。では、もう少し。」

太陽はほほえんで、こんどは、じりじりと強い日ざしで旅人をてらしました。

♪ジリジリ

♪ジリジリジリ

♪ジリジリジリ

♪ジリジリジリ

♪ジリッ

♪ジッジッジッ

旅人「あれ？ なんだかあつくなくなってきたなあ、
こらあ。」

♪ジリジリジリ

♪ジツジツ

♪ジリジツジツ

♪ジリ

♪ジリジツジツ

♪ジリ

旅人「うわあ、こりゃあつくて、たまらん！」

旅人は、てりつけてくるあつい日ざしに、がまんでき
なくなつて、ちやうど近くをながれていた川に、とび
こみました。

(ザブーン！)



太陽 「はははは。

どうやら、勝^かったのは

わたしのようですね。」

北風 「フン…。」

このお話の北風のように、力づくで、むりにおし通そうとしても、ものごとはうまくいかないものなのです。

♪ポカポカポカポカ

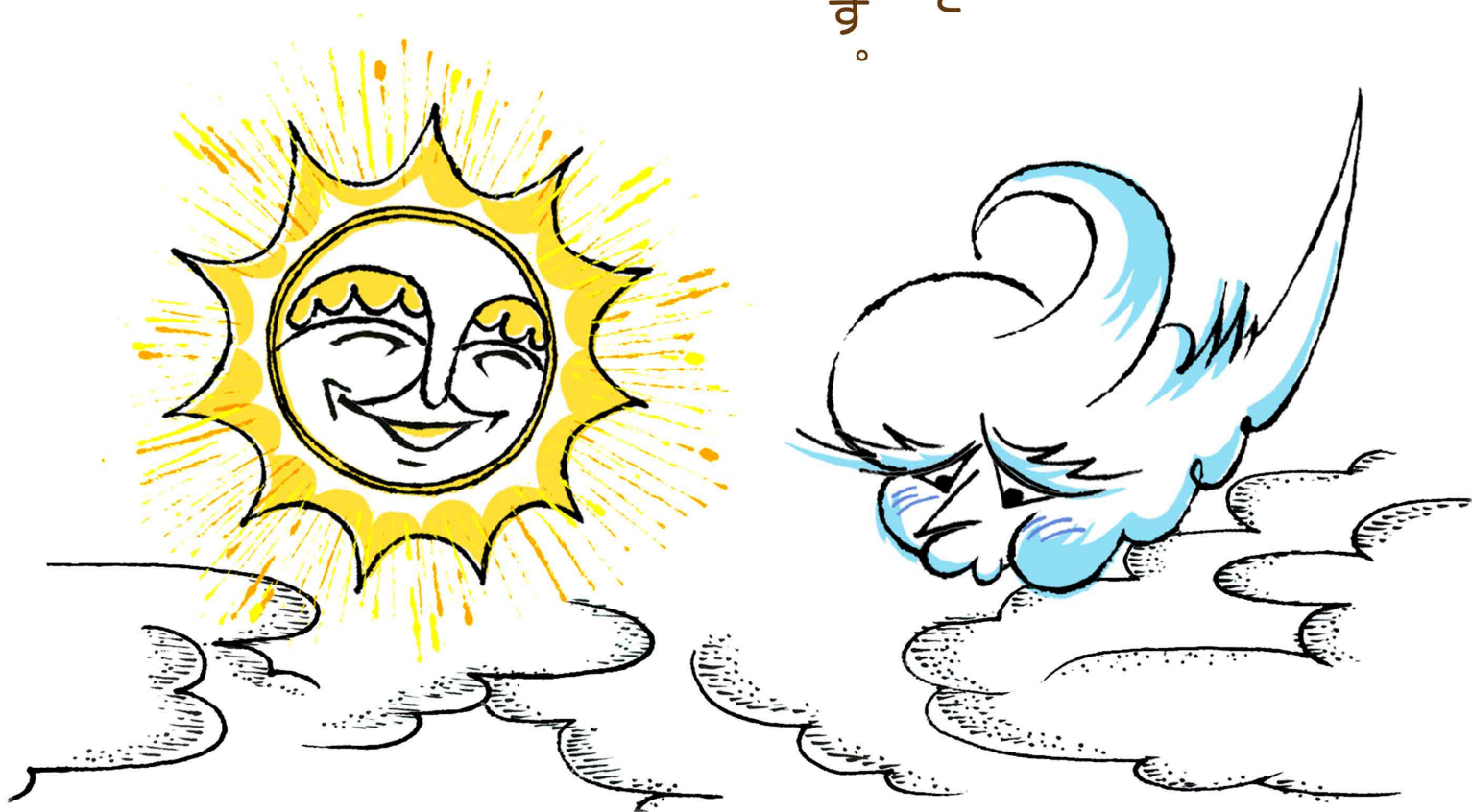
♪ポカポカポカ

♪ポカポカ、ポカ

♪きみもポカポカ、

♪ぼくもポカポカ

♪Oh、サンシャインデイズ



お
わ
り